

令和6年度 学校関係者評価報告書

学)愛光学園 愛光幼稚園

1. 本園の教育目標

仏教的情操教育のもと知恵の芽生えを促し自己肯定感を育て自立の基礎を養います。

阿弥陀様をおがむ子ども ありがとうといえる子ども お話をよく聞く子ども なかよくする子どもを育てます。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ① 園内研修の徹底を図り保育内容の探究意識を高め、更なる子ども主体の保育実践につなげる。
- ② 幼小連携や地域との関わりを考察し園外へ視野を広げた環境づくりに取り組む。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教職員相互の連携	B	教職員同士が互いに声を掛け合い連携はとれている。園内研修は定着したが、保育計画やカリキュラムについての話し合いや情報徹底把握が不十分である。
2	幼小連携・円滑な接続	B	児童との交流を通し、小学校への理解を深めることができた。年間を通して連携をとるには相互の時間の確保が難しいと感じる。
3	地域との関わり	A	近隣の高齢者施設や市民センター訪問など、地域の方々とのふれあいが増えた。園児が自主的に挨拶するなどの育ちが見られた。

評価(A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	地域と関わりを持つことで園児の視野を広げることができた。幼小連携は実現できているが、教師間の細かな連絡と計画立案が必要だと感じた。カリキュラムやまことの保育について相互理解を深め、全体的な保育の質の向上を目指したい。

評価(A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育計画・内容	保育計画・カリキュラムについて話し合いを持ち、相互理解を深め保育の質の向上に努める。
2	教職員相互の連携	全職員間で情報共有を行い、一人ひとりが責任を持って伝達事項の全体像を把握する。

6. 学校関係者の評価

愛光幼稚園のマネジメントはとても素晴らしいと思います。作品展に参加させて頂いたり、自己点検・自己評価を見させて頂いたりしたことから、園の教育活動全般にわたり、教職員間のコミュニケーションが円滑で、働きやすい職場であること、また、子どもの興味・関心を大切に、子どもたちが遊び込める環境を設定していることも評価できることです。来年度には、こうして自己点検・自己評価によりフィードバックを行い、改善に努めている点も評価できます。